

国松地区まちづくりだより

R5.1月 第4号

先進地事例視察会を行いました！

令和4年11月7日(月)午後、「トリヴェール和泉はつが野メグリエシティ」の現地視察を行いました。当日は、地権者の方々に多くのご参加をいただきました。現地では、大本組、ハウスメーカー3社(大和ハウス・PanasonicHomes・住友林業)とコーディネーターの住宅生産振興財団から、トリヴェール和泉はつが野に関する概要、状況やまちのコンセプトなど説明をして頂きました。



公園を通り抜けて住宅地へ



メグリエシティのほぼ中央に位置するはつが野8号公園。トリヴェールは国松地区と同じように勾配のある土地のため、公園は北下がりとなっています。

開放的なまち並みと一体となった、広々として、とても気持ちの良い公園でした。



無電柱化エリアを視察



トリヴェール和泉はつが野には、無電柱化エリアと、そうでないエリアがあります。見比べて実際に歩いてみると、その違いを体感できました。「電線がないと空が綺麗！」「スッキリとしたまち並みで良いですね～！」とご感想がありました。



無電柱化ではこのような地上機器が必要になります。



質疑応答・ご意見

集会所で行った説明会では、多くのご質問をいただきました。おかげさまで活発な意見交換会となり、大変実りある先進地事例視察会となりました。

質疑応答や視察中に出た話題について、いくつか抜粋してご紹介いたします。

Q1. 高低差は国松地区と比較してどうか??

A1. トリヴェール和泉はつが野より国松地区のほうが勾配は緩いです。勾配の緩急をつけて街区はフラットになるように工夫しています。
(国松地区でも同じような提案がありました。)

Q2. 高低差の解消方法として国松地区では擁壁を設ける計画となっているが、トリヴェール和泉はつが野では法面になっている。違うのはなぜ??

A2. 擁壁は擁壁下の地耐力が必要です。トリヴェール和泉はつが野では地耐力が不足していたので法面が適していました。国松地区でも、擁壁を設ける予定の場所でボーリング調査を行い、安全かどうかを調べてから、計画を進めます。
また、法面にすると家を建てられる土地面積が小さくなってしまうという課題もあり、擁壁のほうが有効に土地を活用できると考え、国松地区では擁壁を提案しました。



Q3. 同じような家が立ち並んでおらず、美しい街並みですね。

A3. トリヴェール和泉はつが野では10社のハウスメーカーが参加していますが、それぞれの会社が、それぞれにバラバラな雰囲気の家を建築することなく、美しいまち並みにするよう「まちづくりガイドライン」というものを結んでいます。
隣あった家の窓ガラスの位置を調整したり、植栽計画など、さまざまなルールを決めています。また、似た家が並ばないように、各社を混在させています。
(国松では6社のハウスメーカーが参加する予定です。)

お問い合わせ先:寝屋川市国松土地区画整理準備組合

TEL:06-6312-8011 (平日9時~17時) 担当:八幡

事業協力者:株式会社大本組(大阪支店)

TEL:086-227-5184 (平日9時~17時) 担当:吉田・辻本

事業協力者:株式会社大本組(土木本部)

<ご不明な点やご意見・ご相談等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。>